

スマイルタイムズ

平成20(2008)年4月21日(月)発行
発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹
http://www.nakayama clinic.jp

ボタンを押さない力

総務 松井 正

学生の頃、議論好きの仲間が集まりいろんなテーマで話合ったものです。例えば、戦場で記録映画を撮っていた男が銃弾に当たり死んだとする、が、機械であるカメラは回り続けて素晴らしい場面をフィルムに収めた。この場合、撮影者の意志の入っていないこのフィルムは映画芸術作品になり得るか。

また、こんなのもありました。このボタンを押すとミサイルが飛び出し、敵国に原爆を落とすことができる。上からの命令が下り、ボタンを押さなければならなかった時、あなたはそのボタンを押すか。もし、押さないと拒絶するなら、その決断をもたらす力はどこから出てくるものなのか。その力の根元は何なのか。哲学か、宗教か、教育の力か。

後者について、「哲学」はこの世の真理を究める学問としても正邪、善悪に対していかにどの力を発揮できるか。また「宗教」は昔からそれが原因で戦争、人殺しを繰り返している。となると、「教育」しかその力をもたらすものは無いのではないかと、とか話し合ったのでした。

そんな50年も昔のことを、先月、滋賀県高島市朽木の「やまびこ館」で“杉原千畝(ちうね)と命のビザ”という展示を見て、ふと思い出しました。

6 大概の人がご存じのことだとは思いますが、杉原千畝外交官は、リトアニア領事代理であった1940年7月(日本が太平洋戦争に突入する1年半前、この2ヶ月後には日独伊同盟が結ばれた)、ナチスドイツの迫害から逃れたよれよれの大勢のユダヤ人の難民から日本へのビザの発給を求められました。ドイツと防共協定を結んでいた日本政府は許可をするわけがない。(本国政府の意に背いてビザを発給することに)「苦慮、煩悶のあげく、私はついに人道博愛精神第一と…何も恐れることなく職を賭(と)して(ビザを発行することを)実行した。」と杉原氏は記しています。

それからひたすらビザを書き続け、6千人余のユダヤ人をアウシュビッツの収容所行きから救ったのでした。そのビザを握りしめて彼らはシベリア鉄道でウラジオストックへ、そして海路で敦賀港へ実に1万³の苦難の旅を続けました。

その何千人もの人の命を救った杉原は戦後はソ連の収容所に入れられ、47年、帰国すると無情の退職勧告が待っていました。本国の命に背いた罪

で。その後、何年間も困窮の生活を強いられました。展示を見ながら私は、彼が“職を賭して”でもこの人達の命を救おうとした力はどこから出てきたのだろうと昔に返って思いました。矢張り教育ではないか、色の付かない教え、人間愛の心ではないかと思いました。皆様も誰かこのテーマで議論されることをお勧めしたいと思います。

年々歳々人は変わる 栄養士 多田直子

前回、私が当紙に執筆させて貰ったのが平成14年度でした。あれから6年経ち、早いものであの頃、中学生だった娘は20歳になりましたし、毎日のように当院に電話をかけてきた息子は今年、高校を卒業して無事就職することができました。

その息子と同じ平成元年生まれの猫も満18歳になり、人間なら88歳に相当するようですが、まだ介護の必要はなく、とても元気で毎日を過ごしています。現在、子供達が巣立った私たちにとって、猫が3人目の年いっただ子供というところですが、先日、24歳という老猫がTVに映っていました。人間なら100歳以上、猫も長生きするようになったのですね。

平成も20年になり、私の生まれ、育った大野で過ごした年数よりもこちらの生活の方が長くなってしまいました。来年は4巡目の年女を迎えます。5巡目の年女も元気で迎えることができますやら。キャンピングカーで日本全国漫遊などしたいものですが…、その時までには年金問題も解決して、悠々自適、ガソリンも安いままで、というようなことを期待しつつ…、まだまだ頑張らなくっちゃと思っています。

… … … … … … … … … … … … … … … …

《あ と が き》 当院待合室ミニギャラリーは今までは 藤田京子さん(小浜市甲ヶ崎)の日本画でしたが、今月からは 片原広治さん(小浜市矢代)の油絵です。

4月からこう変わる

医療・保健	診療報酬改定
	■ 200床未満の病院の再診料570円→600円
	■ 処方せん様式を変更し、安価な後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用を促進
	■ 大病院は治療内容を詳細に記した診療報酬明細書(レセプト)並みの明細書を実費で発行
	後期高齢者医療制度導入
	■ 原則75歳以上は都道府県単位の医療制度に加入し、所得に応じて保険料を負担
医療機関の窓口負担割合	
■ 乳幼児の2割負担の期間を3歳未満から義務教育就学前までに拡大	
健康診断で腹囲測定義務付け	
■ メタボリック症候群対策で40歳以上が対象	



では 藤田京子さん(小浜市甲ヶ崎)の日本画でしたが、今月からは 片原広治さん(小浜市矢代)の油絵です。

← 新聞切り抜き コロコロ変わる医療制度の一覧表